



同社の瀬戸松江支社長(右から5番目)や職員の方々と

10月19日に明治安田生命相互保険会社から寄付金(601,000円)の目録贈呈があり、塚原町長から感謝状を手渡しました。

同社は「私の地元応援募金」として、全従業員が出身地などのゆかりのある地域の自治体などに募金し、会社からの寄付を上乗せし、自治体に寄付されています。

この度の寄付金は、町民の皆さんの健康増進に活用させていただきます。ありがとうございます。

明治安田生命相互
保険会社に感謝状
を贈呈

10月19日(木)



興味津々に見学する学生

本町と包括的連携協定を結んでいる島根県立大学松江キャンパスの学生が、飯南町民俗資料館を見学しました。

民族文化を学ぶ約30人の学生は、授業の一環として本町に來町。初めて見る民俗資料と持ちこんだ資料と見比べていました。学生からは「教科書でしか見たことのない資料ばかりで、本物を見られてよかった」などの声がかれました。

事前に連絡をいただければ、教育委員会職員が民具の解説をしますので、興味があればご連絡ください。

島根県立大学の
学生が民俗資料館を
見学

10月28日(土)



お揃いの法被で出迎えていました

本町の農産物や特産品、観光施設等を町外の多くの人に知ってもらうためのアンテナショップ飯南町交流物産館「あいま」のシェ(三次市)で「10周年記念イベント」を開催しました。

当日は「赤来高原観光りんご園のりんご詰め放題」「飯石森林組合の舞茸詰め放題」「飯南米こしひかり先着100名プレゼント」などの催しを開催。この時期ならではの農産物を目当てに、多くの人が訪れました。

iまるシェ10周年
記念祭

10月28日(土)



しめ縄づくり体験が人気

本町が地域活性化包括連携協定を結んでいる(株)AKOMEYATOKYO(お米を中心とした食品・雑貨店)の店舗で「飯南町フェア」を開催しました。

会場では、特産品販売、しめ縄づくり体験、ふるさと納税のPRなどを行いました。

来場者からは「日頃から飯南町のお米を購入しており、フェアを楽しみにしていた」「出身者なので懐かしい味が購入できて嬉しい」との声が聞かれました。

本町エコロジー米推進協議会による新米食べ比べもあり、都市部の消費者と交流を深めながら、まちの魅力を紹介しました。

東京都内で
飯南町フェアを
開催

10月28日(土)
29日(日)



鮮やかな紅葉の中
紅葉祭



170人を超える皆さんが清掃活動

志津見のうぐいす茶屋周辺を会場に「紅葉祭」が開催されました。

やまめの塩焼きやぜんざいなどの販売があり、来場者が列を作りました。また、会場周辺には、平成16年から紅葉を植樹。県内外からの来場者は、自ら植樹したもみじを探し、肥料をあげたり、手入れをしたりしました。

4日には、CSR活動(社会貢献活動)を実施。町内外から30の企業や団体が参加し、草刈りやゴミ拾いなど清掃活動が行われました。



鎌やほうきで落ち葉や草をきれいに



多くの来場者が、紅葉やおいしい食べ物を楽しみました

11.4(土)
~11.5(日)

文化を感じる一日に
来島地区文化祭

来島交流センターで「第43回来島地区文化祭」が開催されました。

ステージ発表は、来島保育所の銭太鼓から始まり、来島交流センターで活動されている団体、サークルが普段の練習の成果を披露。最後は赤来中学校・飯南高校吹奏楽部の演奏で賑やかに文化祭を締めくくりました。

他にも健康に関するブースや保育所、小学校の作品、編み物作品展示や公民館運営委員でのお茶席もあり、多くの来場者で賑わいました。



フラダンスグループ「アロハローゼiian」の発表

11.3
金祝

思い出話で会話が弾む
第61回近畿島根県人会総会

近畿地方在住の島根県出身者で構成される近畿島根県人会の「第61回総会」が大阪市内で開催されました。

今年も飯南町・出雲市・雲南市の出身者で構成される会員が懇親会を企画。催しでは野見宿禰赤名相撲甚句会の皆さんが、会場全体に響き渡る淡い声で相撲甚句を披露し、会場を沸かせました。

出席された近畿飯南会の張戸会長は「盛大に開催できてうれしく思います。今後も島根を盛り上げていきたい」と話していました。



会場は和やかな雰囲気となりました

11.11
土